

2016(平成28)年度事業報告
及び附属明細書

自 2016(平成28)年4月 1日
至 2017(平成29)年3月31日

107-0052 東京都港区赤坂1-2-2
公益財団法人 日 本 音 楽 財 団

I 概 要

公益財団法人日本音楽財団は、2017年3月末現在、アントニオ・ストラディヴァリ等によって製作された世界最高峰の弦楽器を20挺保有している。

当財団は、これら弦楽器名器を次世代へ引き継ぐ役割を担っていることを念頭に、弦楽器の保守保全に関しては、世界屈指の指定楽器商による定期的なコンディションチェックや修理による保全に加え、当財団による楽器保険の付保やATAカルネの発給を行うなど、最善の方法を講じている。

ATAカルネに関しては、2012年9月にフランクフルト空港の税関にて当財団の楽器が押収されたことを受け、2012年10月よりすべての保有楽器にATAカルネを発給することとした。2013年11月21日付で、EU諸国の通関においては、一時的な滞在時の職業用具としての楽器の持ち込みは、場合によっては申告が不要との規則改正が行われたが、規則の運用詳細が不明なため、当財団は引き続きATAカルネを発給し、楽器の安全確保に努めることにした。

当財団は、保有する楽器を、国籍を問わず一流の演奏家や若手有望演奏家に、無償で貸与する「楽器貸与事業」を展開している。貸与希望者を毎年一般公募し、現在貸与中の演奏家からの申請も含めて、欧・米・アジアの有識者で構成された楽器貸与委員会で、申請者の活動実績やDVDによる演奏等が総合的に審議される。これにより、選定の透明性が確保され、本事業への信頼度が増している。

楽器の貸与者には年間5回まで、当財団の演奏会に無償で協力することを義務付けて演奏会事業を推進している。本年度は、楽器貸与者による演奏会を東京2回、大阪1回、名古屋1回、また、「青少年のためのレクチャーコンサート」を秋田市で開催した。加えて、4年ごとに開催しているストラディヴァリウス・コンサートを大阪、福岡、東京の3都市で開催した。本事業は、過去3回においては新聞社が主催、当財団は協力として開催することで、当財団は、チケット売上等の経理処理は行っていなかったが、今回より、当財団が主催者となり、チケット売上等も経理処理したうえで寄付をする形に変更した。また、日本財団以外の団体への助成金の申請や、企業協賛金の獲得を積極的に行った。各公演ともほぼ満席となり、当財団の史上最高額を各開催都市に関連したチャリティ先に寄付することができた。

音楽文化振興・普及のための助成事業(音楽助成事業)では、外部有識者で構成される事業運営委員会の議論を経て、助成事業募集にあたってのテーマを決めて募集している。決定にあたり事業運営委員会の審議を経ることで、透明性と客観性を確保している。

上記のような当財団の事業は、主に日本財団の助成金により運営・実施している。当財団としては、国内外における音楽文化の発展に寄与するため、今後とも業務体制の充実に努めながら、事業を一層効率的に実施したい。

Ⅱ 事 業

「楽器貸与を通じた音楽文化の振興・普及」という公益目的事業の中に 4 つの柱： 1. 楽器の保守・保全、2. 楽器の貸与、3. 演奏会の開催、4. 音楽文化振興・普及のための助成、をとおいて実施している。本年度の詳細は下記のとおりである。

1. 楽器の保守・保全

当財団は、保有している弦楽器名器を永く次世代へ引き継ぐため、楽器の修理及び調整内容等については慎重に検討し、名器の取り扱いに習熟している世界屈指の楽器商を指定し、保全に努めている。各楽器貸与者に、定期的に指定楽器商による楽器の状態チェックを年 4 回義務付け、楽器商から当財団に対しては、直接報告書(コンディションレポート)を提出してもらうことにより、楽器の状態把握に努めている。さらに、年に一度は同じ目で楽器を見る必要があるという観点から、年 4 回の定期チェックの内 1 回は、英国(ロンドン)在住の当財団楽器アドバイザーであるアンドリュー・ヒル(Andrew Hill)氏のチェックを受けるようにしている。

貸与中の楽器のメンテナンスや修理費は当財団が全額負担している。これは世界的文化遺産といわれる弦楽器名器に関して、どこで誰がどのような修理をしたかを「管理者」として把握し記録しておくためである。

保有の楽器は製作後約 300 年経過しており、経年による大規模な修理が必要な楽器が出てきている。本年度は、大規模修理の必要な楽器はなかったが、これまでに保有楽器 20 挺のうち 8 挺の大規模修理が完了している。このような定期メンテナンス以外の大規模修理に対応するため、特定費用準備資金(大規模楽器修理)の積立てを行い、資金を確保している。

当財団では楽器貸与事業開始当初より、各貸与者に対して、楽器保全の観点から、高温多湿な地域に持ち込むことや船舶等での演奏を禁止している。また、戦争地域及び治安が不安定な国への楽器持込みも禁じている。さらに、国家権力による楽器の没収の危険がある国については、貸与者の演奏活動に応じて随時指示を出して対応している。中国並びにロシアに関しては不安定要素が多いことから、招聘先が後述の ATA カルネによる楽器の入出国を保障しない限り楽器の持込みを禁じている。

2012 年 9 月にフランクフルト空港の税関にて当財団の楽器が押収されたことを受けて、2012 年 10 月より、保有する全楽器に ATA カルネを発給している。ATA カルネは、有効期限(1 年)までに楽器を日本に再持込みができない場合は、有効期限が切れた時点で楽器が存在する国の輸入税の支払いを確約するものである。よって当財団は、演奏家には ATA カルネ更新のため、毎年来日することを義務付けており、ATA カルネ更新のスケジュール管理に細心の注意を払っている。しかしながら予期せぬ事故により請求される罰金等の支払いに対応するために、特定費用準備資金(楽器保全)の積立を行い、万が一の事故に対応できるように資金を確保している。

近年、ワシントン条約・CITES(Convention on International Trade in Endangered Species of Wild Fauna and Flora:絶滅の恐れのある野生動植物の国際間取引規制条約)に関連して、ブラジルボク(別名:ペルナンブコ、フェルナンブコ)を使用した弓が、米国で没収される事件が起こっている。まだ弦楽器の没収という事態は起こっていないが、弓同様に米国税関が弦楽器を対象とする可能性があることから、当財団では保有するす

すべての楽器に「ワシントン条約で禁じている材料が使われていないことの証明」をする証明書(ワシントン条約適用除外証明書:Declaration of Materials)を当財団指定楽器商に依頼し順次発行した。

楽器保険については、楽器管理者の責任のもと全額を当財団が支払っており、2社の保険会社と契約し、より良い条件と料率で契約できるよう努力している。

2. 楽器の貸与

(1) 第22回楽器貸与委員会

本年度の楽器貸与委員会は、下記のとおり実施した。

日時 2016年9月23日(金)11:00~12:40
場所 アメリカ合衆国ニューヨーク市
Trump International Hotel & Tower 内会議室にて
楽器貸与委員 巻末別紙2のとおり
財団保有楽器 巻末別紙3のとおり
審議事項 現在の貸与状況及び貸与更新について
新規貸与申請について

会議結果

1) 貸与更新承認(16名)

Hagen Quartet(4名): Lukas Hagen(1st vn)、Rainer Schmidt(2nd vn)、
Veronika Hagen(va)、Clemens Hagen(vc)

Veronika Eberle、Sergey Khachatryan、Yuki Manuela Janke、Suyoen Kim、
Arabella Miho Steinbacher、Svetlin Roussev、Alina Pogostkina、Ray Chen、
諏訪内晶子、五嶋 龍、石坂団十郎、Pablo Ferrández

2) 2015年エリザベート王妃国際コンクール優勝者 Ji Young Lim については、次回コンクール(2019年)までの貸与が確認された。

3) 新規長期貸与(1名)

Benjamin Beilman

4) 短期貸与用楽器

その他の楽器については、特定の演奏会及びCD録音等のための6ヶ月以内の貸し出しを行うために充てることが承認された。

(2) 楽器の貸与状況

2017年3月末現在における保有楽器20挺の貸与状況は、巻末別紙5のとおりである。

①~④ Stradivarius “Paganini Quartet”

貸与者	Hagen Quartet
1680年製 Violin	Rainer Schmidt(スイス・ビンニゲン在住)
1727年製 Violin	Lukas Hagen(オーストリア・ザルツブルク在住)
1731年製 Viola	Veronika Hagen(オーストリア・ ゼーキルヒェン・アム・ヴァラーゼー在住)
1736年製 Cello	Clemens Hagen(オーストリア・ザルツブルク在住)
貸与推薦者	内田光子(ピアニスト) Franz Welser-Möst(指揮者)

Alexander Pereira(ザルツブルク音楽祭監督)

当該楽器を使用しての演奏 合計 46 回(聴衆約 25,600 名)

2013 年 7 月 5 日より貸与しており、2017 年 8 月 31 日まで(貸与期間 4 年 2 ヶ月)貸与契約を結んだ。ストラディヴァリウス・コンサート 2016(後述)に出演した。

⑤ Stradivarius 1700 年製 Violin “Dragonetti”

貸与者 Veronika Eberle(ドイツ・ベルリン在住)

貸与推薦者 Ana Chumachenco(ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)
Sir Simon Rattle(指揮者)

内田光子(ピアニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 75 回(聴衆約 106,100 名)

2009 年 5 月 11 日より貸与しており、2017 年 8 月 31 日まで(貸与期間 8 年 4 ヶ月)貸与契約を結んだ。ストラディヴァリウス・コンサート 2016(後述)に出演した。

⑥ Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”

貸与者 Suyoen Kim(ドイツ・ベルリン在住)

貸与推薦者 Ana Chumachenco(ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)
Jan Latham-Koenig(指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 23 回(聴衆約 33,400 名)

2015 年 1 月 20 日より貸与しており、2017 年 8 月 31 日まで(貸与期間 2 年 8 ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑦ Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”

貸与者 Ji Young Lim(韓国・ソウル在住)

貸与期間 2015 年 6 月 2 日～次期コンクール開催(2019 年 5 月)まで

当該楽器を使用しての演奏 合計 23 回(聴衆約 17,600 名)

同氏は 2015 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールの優勝者であり、副賞として上記期間約 4 年間、当該楽器を貸与。

⑧ Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”

貸与終了後の 2016 年 3 月よりドイツの楽器商にてメンテナンスを行った後、下記のとおり貸与した。

1) 貸与者 Sergey Khachatryan(ドイツ・エッシュボルン在住)

貸与期間 2016 年 8 月 19 日～2016 年 9 月 14 日

同氏は Guarneri del Gesu “Ysaye”の長期貸与者であるが、財団主催ストラディヴァリウス・コンサート 2016(後述)に出演するために上記期間貸与した。

2) 貸与者 渡辺玲子(東京在住)

貸与期間 2016 年 11 月 15 日～2016 年 11 月 19 日

同氏は del Gesu “Muntz”の短期貸与者であるが、当財団主催のコンサート(後述)において 2 つの楽器を演奏するため貸与した。

3) 貸与者 Benjamin Beilman(フィラデルフィア在住)

貸与推薦者 Kyung-Wha Chung(ヴァイオリニスト)

Jean-Philippe Rolland(ワーナークラシック副社長)

当該楽器を使用しての演奏 合計 28 回(聴衆約 23,200 名)

同氏は、2016 年に開催した楽器貸与委員会にて長期貸与者として承認され、2016 年 12 月 7 日より貸与を開始し、2017 年 8 月 31 日まで(貸与期間 9 ヶ月)貸与契約

を結んだ。

⑨ Stradivarius 1710 年製 Violin “Camposelice”

貸与者 Svetlin Roussev (フランス・パリ在住)

貸与推薦者 Myung-Whun Chung (指揮者)

Kyung-Wha Chung (ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 57 回 (聴衆約 45,600 名)

2012 年 1 月 15 日より“Joachim”を短期で貸与したが、2012 年 2 月 8 日に当該楽器に変更した。2017 年 8 月 31 日まで (貸与期間 5 年 7 ヶ月) 貸与契約を結んだ。

財団主催ストラディヴァリウス・コンサート 2016 (後述) 並びに当財団の助成事業コンサート (後述) に出演した。

⑩ Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”

貸与者 諏訪内晶子 (フランス・パリ在住)

貸与推薦者 Charles Dutoit (指揮者)

徳永二男 (ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 39 回 (聴衆約 66,100 名)

2000 年 8 月 11 日より貸与しており、2017 年 8 月 31 日まで (貸与期間 17 年) 貸与契約を結んだ。ストラディヴァリウス・コンサート 2016 (後述) に出演した。

⑪ Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”

貸与者 Ray Chen (アメリカ・フィラデルフィア在住)

当該楽器を使用しての演奏 合計 60 回 (聴衆約 102,800 名)

同氏は 2009 年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、副賞として Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”を貸与したが、他団体からも楽器貸与を受けていたため、その期間は楽器を返却した (2009 年 6 月 2 日から 2010 年 9 月 8 日まで貸与: 貸与期間 1 年 3 ヶ月)。その後他団体からの貸与が終了したので、2012 年 4 月 11 日より Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”を貸与し、2014 年 6 月 19 日に当該楽器に変更した。2017 年 8 月 31 日まで (貸与期間 5 年 5 ヶ月、通算貸与期間 6 年 8 ヶ月) 貸与契約を結んだ。ストラディヴァリウス・コンサート 2016 (後述) に出演した。

⑫ Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”

貸与者 Arabella Miho Steinbacher (ドイツ・ミュンヘン在住)

貸与推薦者 Ana Chumachenco (ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授)

Anne-Sophie Mutter (ヴァイオリニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 54 回 (聴衆約 90,200 名)

2005 年 5 月 6 日より 1736 年製 Stradivarius Violin “Muntz”貸与していたが、2006 年 9 月 4 日より当該楽器に変更している。2017 年 8 月 31 日まで (貸与期間 11 年、通算期間 12 年 4 ヶ月) 貸与契約を結んだ。ストラディヴァリウス・コンサート 2016 (後述) に出演した。

⑬ Stradivarius 1717 年製 Violin “Sasserno”

貸与者 Alina Pogostkina (ドイツ・ベルリン在住)

貸与推薦者 Sakari Oramo (指揮者)

Thomas Hengelbrock (指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 35 回 (聴衆約 36,000 名)

2013年2月28日より貸与を開始し、2017年8月31日まで(出産のため2015年5月から11月まで7ヶ月休業、一時楽器を返還した。貸与期間3年11ヶ月)貸与契約を結んだ。

⑭ Stradivarius 1722年製 Violin “Jupiter”

貸与者 五嶋 龍(アメリカ・ニューヨーク在住)

貸与推薦者 今井信子(ヴィオラ奏者)

Michael Dussek(ピアニスト)

当該楽器を使用しての演奏 合計 20回(聴衆約 29,100名)

2013年3月7日より短期貸与を開始し、2013年開催の楽器貸与委員会にて長期貸与者として承認された。2017年8月31日まで(貸与期間4年6ヶ月)貸与契約を結んだ。当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑮ Stradivarius 1725年製 Violin “Wilhelmj”

貸与者 Radoslaw Szulc(ドイツ・ミュンヘン在住)

貸与推薦者 Mariss Jansons(指揮者)

Julia Fischer(ヴァイオリニスト、フランクフルト音楽大学教授)

貸与期間 2016年6月17日～2016年12月16日

2016年12月17日～2017年6月16日

演奏活動のため(短期貸与期間延長)

当該楽器を使用しての演奏 合計 4回(聴衆約 3,700名)

⑯ Stradivarius 1736年製 Violin “Muntz”

貸与者 Yuki Manuela Janke(ドイツ・ドレスデン在住)

貸与推薦者 外山雄三(指揮者、作曲家)

Julia Fischer(ヴァイオリニスト、フランクフルト音楽大学教授)

当該楽器を使用しての演奏回数 合計 39回(聴衆約 19,800名)

2007年11月3日より貸与しており、2017年8月31日まで(貸与期間9年10ヶ月)貸与契約を結んだ。ストラディヴァリウス・コンサート2016(後述)に出演した。

⑰ Stradivarius 1696年製 Cello “Lord Aylesford”

貸与者 Pablo Ferrández(スペイン・トレドネス在住)

貸与推薦者 Frans Helmerson(チェリスト)

Luis Claret(チェリスト)

Paloma O'shea(ソフィア王妃高等音楽院学長)

当該楽器を使用しての演奏 合計 45回(聴衆約 64,900名)

2014年1月17日より貸与しており、2017年8月31日まで(貸与期間3年8ヶ月)貸与契約を結んだ。ストラディヴァリウス・コンサート2016(後述)に出演した。

⑱ Stradivarius 1730年製 Cello “Feuermann”

貸与者 石坂団十郎(ドイツ・ベルリン在住)

貸与推薦者 Daniel Barenboim(ピアニスト、指揮者)

Krzysztof Penderecki(作曲家、指揮者)

当該楽器を使用しての演奏 合計 41回(聴衆約 25,500名)

2004年1月29日よりStradivarius 1696年製 Cello “Lord Aylesford”を貸与していたが、2014年1月10日より当該楽器に変更した。2017年8月31日まで(貸与期間3年8ヶ月、通算期間13年7ヶ月)貸与契約を結んだ。ストラディヴァリウス・コンサート

2016(後述)に出演した。

⑱ Guarneri del Gesu 1736 年製 Violin “Muntz”

貸与者 渡辺玲子(東京在住)
貸与推薦者 原田幸一郎(ヴァイオリニスト)
徳永二男(ヴァイオリニスト)

貸与期間 2016年4月1日～2016年9月30日
2016年10月1日～2017年3月31日(短期貸与延長)

当該楽器を使用しての演奏 合計17回(聴衆約11,800名)

当財団事業協力のため貸与している。本年度は、「青少年のためのレクチャーコンサート」並びに当財団の演奏会(後述)に出演した。

⑳ Guarneri del Gesu 1740 年製 Violin “Ysaye”

貸与者 Sergey Khachatryan(ドイツ・エッシュボルン在住)

当該楽器を使用しての演奏回数 合計46回(聴衆約71,400名)

同氏は2005年ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝者であり、2009年4月7日まで Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”を貸与(3年10ヶ月)した。引き続きの貸与の申請があり Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”を、2009年4月7日より貸与。その後、2010年10月27日より当該楽器へ変更し2017年8月31日まで(貸与期間6年10ヶ月、通算貸与期間12年3ヶ月)貸与契約を結んだ。

3. 演奏会の開催

楽器貸与事業の広報を目的とした演奏会を開催した。各演奏会とも実録 CD 等を作成し、関係者へ配布するとともにクラシック音楽専門チャンネルで放送し、事業の周知に努めた。本年度は下記のとおり8公演を行った。

そのうち4年ぶりにストラディヴァリウスを13挺一堂に会した「ストラディヴァリウス・コンサート2016」と題したチャリティ・コンサートを、大阪、福岡、東京の3都市で開催した。

従来、このストラディヴァリウス・コンサートは、主催を新聞社とし、当財団は協力という形式で事業を行ってきた。しかし、過去の事業から十分なノウハウを蓄積してきたので、本年度からは当財団が主催者となり、チケット売上等もすべて当財団の収入として経理処理した上で、寄付金として直接支出することに改めるとともに、日本財団以外の諸団体への助成金の申請や、事業に対する企業協賛金等を積極的に開拓した。

助成金等に関しては、(公財)日本財団からの助成金を軸に、福岡公演に関しては、(公財)全国税理士共栄会文化財団、(公財)朝日新聞文化財団からの助成金に加え、福岡地域の文化振興に寄与する事業と認定され、演奏会場であるアクロス福岡より会場使用料相当が助成された。また、ルフトハンザ ドイツ航空会社から、演奏家の海外からの招へいに関する航空券の手配で、また株式会社東北新社からは CD、DVD の作成に関して多大なご配慮をいただくことで、当初予定していた経費を大幅に削減することに成功した。

加えて、大阪公演では9社から90万円、福岡公演では10社から300万円の企業協賛を受けることにより、地域での注目度も高くなり、集客率は80%から90%でほぼ満席となった。その結果、寄付金総額は当財団史上最高額となった。

(以下、開催日順)

- (1) 演奏会の名称 Suyoen Kim ヴァイオリン・リサイタル
- 出演 Suyoen Kim Stradivarius 1702 Violin “Lord Newlands” 使用
占部由美子 ピアノ
- 日程 2016年7月13日(水)レセプション 18:00 演奏会 19:00~20:00
- 会場 浜離宮朝日ホール(東京) 550席(全席招待)
- 主催 日本音楽財団
- 助成 日本財団
- 曲目 ヨハン・ゼバスティアン・バッハ:無伴奏ヴァイオリンのための
パルティータ第3番 ホ長調 BWV1006
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン:
ヴァイオリン・ソナタ 第3番 変ホ長調作品12-3
カミーユ・サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調作品28
- 来場者数 約470名(全席招待)

- (2)-(4) 演奏会の名称 ストラディヴァリウス・コンサート2016
- 出演者 (楽器貸与者13名とストラディヴァリウス13挺、ピアニスト1名)
- Hagen Quartet (Rainer Schmidt、Lukas Hagen、Veronika Hagen、Clemens Hagen)、Veronika Eberle、Svetlin Roussev、諏訪内晶子、Ray Chen、Arabella Miho Steinbacher、Yuki Manuela Janke、Sergey Khachatryan*、Pablo Ferrández、石坂団十郎、江口玲(ピアニスト)
- *注:Sergey KhachatryanはGuarneri del Gesu Violin “Ysaye”の貸与者だが、この演奏会ではStradivarius Violin “Engleman”を使用した。

曲目 プログラミングはHagen Quartetによる(3公演共通)。

ゲオルク・フィリップ・テレマン:

4つのヴァイオリンのための協奏曲 ト長調 TWV 40:201

1st violin : Ray Chen 3rd violin : Sergey Khachatryan

2nd violin : Arabella Miho Steinbacher 4th violin : Svetlin Roussev

ダーヴィット・ポッパー:3つのチェロとピアノのためのレクイエム 作品66

1st cello : 石坂団十郎 3rd cello : Clemens Hagen

2nd cello : Pablo Ferrández Piano : 江口玲

アントニン・ドヴォルザーク:2つのヴァイオリンとヴィオラのための三重奏曲

「テルツェット」ハ長調 作品74

1st violin : Veronika Eberle Viola : Veronika Hagen

2nd violin : Rainer Schmidt

ドミートリイ・ショスタコーヴィチ:2つのヴァイオリンとピアノのための5つの小品

1st violin : Lukas Hagen Piano : 江口玲

2nd violin : Yuki Manuela Janke

アストル・ピアソラ(森孝之編):6つのヴァイオリンとピアノのためのリベルタンゴ

1st violin : Arabella Miho Steinbacher 5th violin : Ray Chen

2nd violin : 諏訪内晶子 6th violin : Svetlin Roussev

助 成 日本財団、(公財)全国税理士共栄会文化財団、
(公財)朝日新聞文化財団

後 援 オーストリア大使館、福岡県、福岡市、福岡県教育委員会、
(公財)福岡市文化芸術振興財団、子どもの村福岡後援会

特別協賛 ルフトハンザ ドイツ航空会社

協 賛 福岡トヨタ自動車株式会社、福岡トヨペット株式会社、
トヨタカローラ福岡株式会社、トヨタカローラ博多株式会社、
ネットヨタ福岡株式会社、えん株式会社、株式会社ゼンリン
大成印刷株式会社、株式会社ホテル日航福岡、株式会社やずや

チケット販売 S 席 7,000 円、A 席 5,000 円、B 席 3,000 円

来場者数 約 1,500 名

寄 付 額 11,590,400 円(チケット売上と協賛金の全額)

チャリティ先 (特非)SOS 子どもの村 JAPAN

※追加イベントとして演奏会前日の 9 月 11 日(日)に出演者 2 名(Yuki Manuela Janke、
Pablo Ferrández)の協力により、親子を対象としたミニコンサートをアクロス福岡内の円形ホールで行い、普段クラシック音楽と触れる機会の少ない幼年の子供たちに身近に音楽を楽しんでもらった。

(4) 東京公演

日程と会場 2016 年 9 月 13 日(火)19:00 サントリーホール大ホール(2006 席)

名 称 車椅子利用者の音楽鑑賞を支援するためのチャリティ・コンサート
ストラディヴァリウス・コンサート 2016

主 催 日本音楽財団、サントリーホール

特別共催 港区スポーツふれあい文化健康財団

助 成 日本財団

特別協賛 ルフトハンザ ドイツ航空会社

チケット販売 S 席 10,000 円、A 席 8,000 円、B 席 6,000 円

来場者数 約 1,750 名

寄 付 額 5,049,000 円(サントリー芸術財団との覚書で決めた 500 万円と当日会場
での募金額の合計)

チャリティ先 (公財)サントリー芸術財団
サントリーホールが実施する車椅子利用者の音楽鑑賞コンサート開催の
ため使用される

(5) 演奏会の名称 「第 14 回いずみホール“夢コンサート”」

障害を持つ方とその方々をサポートする家族やボランティアの人たちを無料で招待するコンサートに楽器貸与者の出演協力をした。

出 演 指揮：藤岡幸夫
オーケストラ：関西フィルハーモニー管弦楽団
ソリスト：石坂団十郎 Stradivarius 1730 Cello “Feuermann” 使用

日 時 2016 年 9 月 15 日(木)14:00～16:00

会 場 いずみホール(大阪) 821 席

主 催 (一財)住友生命福祉文化財団
 特別協力 日本音楽財団
 協 力 日本財団
 招待団体 大阪市社会福祉協議会、日本ライトハウス、大阪ボランティア協会、
 視覚障がいサポートボランティア、スミセイハーモニー、
 全国重度障害者雇用事業所協会、身障者講習会講師

曲 目 J. シュトラウスⅡ:ポルカ「雷鳴と電光」
 ウェーバー:「魔弾の射手」序曲
 ハイドン:チェロ協奏曲第1番ハ長調
 リムスキー=コルサコフ:交響組曲「シェエラザード」Op.35より

聴衆数 約 620名(盲導犬8頭、車いす30台、ストレッチャー1台)(全席招待)

(6) 演奏会の名称 青少年のためのレクチャーコンサート「名曲を聴こう」

出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesu 1736 Violin “Muntz”使用
 江口玲 ピアノ

日 程 2016年11月11日(金)14:00～15:20

会 場 アトリオン音楽ホール(秋田市) 700席

主 催 日本音楽財団、秋田県

助 成 日本財団

曲 目 J.S.バッハ(ウィルヘルミ編):G線上のアリア
 パガニーニ:モーゼ幻想曲
 フランク:ピアノとヴァイオリンのためのソナタ イ長調 第1・2楽章
 クライスラー:ウィーン奇想曲
 シューベルト:即興曲変ト長調 Op.90-3(ピアノ独奏)
 ショスタコーヴィチ:ロマンス(映画「馬あぶ」より)
 バルトーク(セーケイ編):ルーマニア民俗舞曲
 ラヴェル:ツィガーヌ

来場者数 約 430名(全席招待)

CD配布 出席した学生等に同様のプログラムで開催した11月18日名古屋公演
 のCDを後日配布した

(7) 演奏会の名称 NPO ふくりび支援 渡辺玲子&イム・ジョン デュオ・リサイタル
 イム・ジョン(Ji Young Lim)氏が体調不調により出演不可となったため、急遽プログラム
 を変更し、渡辺玲子氏による演奏会をレクチャー形式で実施した。

出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesu 1736 Violin “Muntz”使用
 Stradivarius 1709 Violin “Engleman”使用
 (アンコール曲のみ)

林絵里 ピアノ

日 程 2016年11月18日(金)19:00～20:30

会 場 三井住友海上しらかわホール(名古屋) 693席

主 催 日本音楽財団、
 NPO 法人ふくりび活動支援チャリティ・コンサート実行委員会

共 催	中日新聞社
助 成	日本財団
後 援	名古屋市、名古屋教育委員会
協 賛	住友理工株式会社、株式会社 NSR JAPAN
曲 目	J.S.バッハ(ウィルヘルミ編):G線上のアリア パガニーニ:モーゼ幻想曲 フランク:ピアノとヴァイオリンのためのソナタ イ長調 クライスラー:ウィーン奇想曲 シューベルト:楽興の時 D.780 Op.94-2(ピアノ独奏) ショスタコーヴィチ:ロマンス(映画「馬あぶ」より) バルトーク(セーケイ編):ルーマニア民俗舞曲 ラヴェル:ツィガース (アンコール)エルガー:愛の挨拶
チケット販売	S 席 6,000 円、A 席 5,000 円、B 席 3,000 円
チャリティ先	NPO 法人全国福祉理美容師養成協会(NPO 法人ふくりび)が、がん闘病中の方のアピアランス(外見)の悩みをサポートするための民間初の専門施設として設立した「アピアランスサポートセンターあいち」の運営資金として使用される。
寄 付 額	1,797,000 円(チケット売上と協賛金の全額)
来場者数	約 310 名

(8) 演奏会の名称 五嶋龍ヴァイオリン・リサイタル

出 演	五嶋龍 Stradivarius 1722 Violin “Jupiter” 使用 居福健太郎 ピアノ
日 程	2017 年 1 月 31 日(火)レセプション 18:00 演奏会 19:00~20:00
会 場	浜離宮朝日ホール(東京) 550 席
主 催	日本音楽財団
助 成	日本財団
曲 目	ロベルト・シューマン:ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第 2 番ニ短調 作品 121 第 1&4 楽章 ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト: ヴァイオリンソナタ第 18 番ト長調 K.301(293a) カイヤ・サーリアホ:トカール ヘンリク・ヴィエニャフスキ:創作主題による華麗なる変奏曲 作品 15
来場者数	約 530 名(全席招待)

4. 音楽文化振興・普及のための助成

助成事業の募集は、外部有識者で構成される事業運営委員会で決定されたテーマ(柱)に沿ってホームページに公開している。また、事業の決定については同委員会の審議を経て決定している。(本年度事業運営委員名簿は、巻末別表 3)

本年度は、昨年度同様、楽器貸与者による財団主催の演奏会を東京以外の地域で積極的に開催するために、それぞれの地域にあった集客ができるパートナー(共催者)を

育成することを目的とする柱「パートナーの育成」及び「若手の育成」を中心に募集したところ、11事業の申請があった。本年度分より年度初めの事業を支援できるように第1回目の委員会は前年度中の開催とした。

2016年度事業運営委員会

第1回事業運営委員会 2016年3月15日14:00～16:00

第2回事業運営委員会 2016年4月20日付(書面)

上記委員会で決定した5事業については、下記のとおりである。

本年度は国内4事業、海外1事業の5事業に支援した。今回支援したどの事業も当初期待した成果が出ていることを確認した。助成額合計 4,512,400円

① マロニエール・クラシック・フェスティバル コンサート Vol.4

主催 (一財)MCF オーケストラとちぎ

日時 2016年8月7日(日)

場所 栃木県総合文化センター

助成額 500,000円

② 第4回全日本マンドリン合奏コンクール

主催 特定非営利活動法人 ARTE MANDOLINISTICA

日時 2016年8月20日(土)

場所 500,000円

③ クシヨバ・ミュージック室内楽 ワークショップとフェスティバル

Krzyzowa-Music Workshop with Junior Musician

主催 Krzyzowa-Music(ポーランド)

日時 2016年8月12日(金)～8月28日(日)

場所 Kreisau Circle Krzyzowa(ポーランド)

助成額 1,212,400円(10,000ユーロ相当額)

④ 春を呼ぶコンサート 2017～インフェニート コラルコ デビュー10周年～

主催 インフェニートコラルコ

日時 2017年1月8日(日)

場所 八戸市公会堂中ホール

助成額 500,000円

⑤ オーケストラの日 2017

主催 (公社)日本オーケストラ連盟

日時 2017年3月31日(金) 15:00～16:45

場所 文京シビックホール大ホール(東京)(1,802席)

出演 オーケストラの日祝祭管弦楽団、現田茂夫(指揮)

ソリスト:Svetlin Roussev(当財団楽器貸与者)

Stradivarius 1710年製 Violin “Camposelice”使用

助成額 1,800,000円

5. 広報活動

日本音楽財団の事業活動を広く周知するため、以下のような広報活動を展開している。

- (1) 財団冊子(日本語、英語併記)を作成し、関係する演奏会の会場などで広く一般に配布している。
- (2) ホームページ(日本語、英語)にて、財団の事業活動全般について紹介している。
- (3) 財団主催演奏会の CD、DVD を作成し、国内外の音楽関係機関、オピニオンリーダー等に配布している。本年度作成した CD、DVD は以下のとおり。
 - 1) Suyoen Kim ヴァイオリン・リサイタル CD (2016年7月13日東京収録)
 - 2) ストラディヴァリウス・コンサート2016 CD、DVD (2016年9月13日東京収録)
 - 3) 渡辺玲子チャリティ・コンサート CD (2016年11月18日名古屋収録)
 - 4) 五嶋龍ヴァイオリン・コンサート CD (2017年1月31日東京収録)
- (4) 楽器貸与者との間で締結している貸与契約書に以下の内容を明記し、楽器貸与事業の周知・広報を図っている。

- 1) 貸与者は、報道機関のインタビューや演奏会プログラムにおいて、貸与楽器の名称並びに当該楽器が日本音楽財団から貸与されていることの実を周知・広報する。
- 2) 貸与楽器による演奏が、CD、DVD 等の形で制作される時は、貸与者は、貸与楽器の名称並びに当該楽器が日本音楽財団から貸与されていることの実を当該制作物に明確に表示する。
- 3) 貸与者は、年に1度、3月末日に前年4月からの演奏会(開催日、開催場所、演奏曲目、入場者数等)並びに CD、DVD 制作に関する活動内容報告書を日本音楽財団に提出する。

楽器貸与者が本年度中にリリースした CD 等は以下のとおりである。

- ① CD: 諏訪内晶子 “フランク&R.シュトラウス:ヴァイオリン・ソナタ 武満徹 悲歌”
(2016年4月)
 - ② CD: Svetlin Roussev “Dvořák-Mendelssohn Piano Trio” (2016年4月)
 - ③ CD: Svetlin Roussev “Eugene Ysaye Neiges d'antan” (2016年5月)
 - ④ CD: Arabella Steinbacher “Fantasies, Rhapsodies&Day dreams” (2016年9月)
 - ⑤ CD: Sergey Khachatryan “My Armenia” (2016年11月)
 - ⑥ CD: Svetlin Roussev “Edouard Lalo, Albert Roussel”(2016年12月)
- (5) 衛星デジタルラジオ局並びに衛星デジタルテレビの協力を得て、当財団主催の国内外の演奏会の実録 CD、DVD を放送し、不特定多数の方々にストラディヴァリウスの華やかな響きを楽しんでもらい、楽器貸与事業の周知・広報を図っている。特に普段ストラディヴァリウスの演奏に触れる機会のない地方のクラシックファンには、大変喜ばれているとの報告を受けている。2016年度における放送内容は下記のとおりである。

1) 衛星デジタルラジオ MUSICBIRD THE CLASSIC (121ch)

- ① 放送日:2017年1月28日(土)、2月4日(土)(再放送)

・「Ji Young Lim ヴァイオリン・リサイタル」

(浜離宮朝日ホール 2015年11月10日収録)

出演:Ji Young Lim(ヴァイオリン)、鳥羽亜矢子(ピアノ)

・「Suyoen Kim ヴァイオリン・リサイタル」

(浜離宮朝日ホール 2016年7月13日収録)

出演: Suyoen Kim (ヴァイオリン)、占部由美子 (ピアノ)

② 放送日: 2016年4月30日(土)

・THE CLASSIC SPECIAL 名器ストラディヴァリウスの華麗なる饗宴 Vol.1
「Encounter with Stradivari 2012」(サントリーホール 2012年9月10日収録)

③ 放送日: 2016年5月1日(日)

・過去の演奏会より「Encounter with Stradivari 2016」に出演する貸与者の演奏を
抜粋

2) 衛星デジタルテレビ クラシカ・ジャパン×スカパー!

放送局 BS スカパー

① 放送日

「ストラディヴァリウス・コンサート2012」(サントリーホール、2012年9月10日収録)
2016年5月8日、25日、26日、27日、30日、31日、6月4日、
2017年2月8日、9日、10日、11日、13日、14日、15日、19日

② 放送日

「ストラディヴァリウス・コンサート2016」(サントリーホール、2016年9月13日収録)
2016年11月3日、2017年2月1日、2日、3日、4日、6日、7日、8日、12日

(6) 音楽雑誌、新聞、その他マスメディアの取材要請、財団保有楽器の写真提供要請
に応え、財団の活動の周知・広報を図っている。2016年度における主な掲載記事の
内容は以下のとおりである。特に、ストラディヴァリウス・コンサート2016で来日する演
奏家のインタビュー記事が、音楽雑誌「サラサーテ」並びに「モーストリークラシック」
に掲載された。

「サラサーテ」2016年4月号 Yuki Manuela Janke

2016年6月号 石坂団十郎

2016年8月号 諏訪内晶子

2016年10月号 Hagen Quartet

「モーストリークラシック」

2016年7月号 Yuki Manuela Janke

2016年8月号 Ray Chen

2016年9月号 石坂団十郎

2016年10月号 Arabella Miho Steinbacher

また、新聞社共同取材による諏訪内晶子インタビューの記事(大阪公演)

2016年4月27日: 毎日夕刊

2016年8月16日: 朝日夕刊

2016年8月19日: 神戸夕刊

Ⅲ 総 務

1. 役員の変動

2016年4月11日に奈良久彌評議員が逝去された。2016年6月27日開催の定時評議員会において、任期満了に伴う改選で理事6名、監事2名、評議員12名が選任された。また、同日開催の第2回理事会において、小林實氏の代表理事(会長)退任に伴い、代表理事(会長)には江頭(塩見)和子が、また業務執行理事(常務理事)に檜林欣也が選任された。

年度末現在の理事・監事・評議員の名簿は巻末別紙1のとおりである。

2. 理 事 会

本年度は、理事会を下記のとおり4回開催した。

2016年度第1回理事会

開催日 2016年6月9日(木)11:00~11:40

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37階

議決事項

第1号議案 2015年度事業報告及び決算について

2016年度第2回理事会

開催日 2016年6月27日(月)13:30~13:50

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37階

議決事項

第1号議案 会長(代表理事)及び理事長(代表理事)、
常務理事(業務執行理事)の選定について

第2号議案 旅費規程の改定について

第3号議案 評議員会の招集について

2016年度第3回理事会(定款第34条に基づく決議の省略)

開催日 2016年7月6日(水)

場 所 日本音楽財団事務所内

議決事項

非常勤代表理事の退職慰労金額の提案について

2016年度第4回理事会

開催日 2017年3月10日(金)11:00~12:00

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37階

議決事項

第1号議案 2017年度事業計画及び収支予算について

付帯決議案 事業計画の若干の字句の修等は、会長に一任する
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は、
会長に一任する

第2号議案 職員給与規程及び旅費規程の一部改正について

第3号議案 評議員会の招集について

3. 評議員会

本年度は、評議員会を下記のとおり3回開催した。

2016年度定時評議員会

開催日 2016年6月27日(月)11:00~12:00

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37階

議決事項

第1号議案 2015年度事業報告及び決算について

第2号議案 理事、監事の任期満了に伴う改選について

第3号議案 評議員の任期満了に伴う改選について

第4号議案 理事、監事及び評議員に対する報酬等支給基準の
一部改正について

第5号議案 理事の報酬額の変更について

2016年第1回度臨時評議員会(定款第20条に基づく決議の省略)

開催日 2016年7月13日(水)

場 所 日本音楽財団事務所内

議決事項

理事、監事及び評議員に対する報酬等支給基準の一部改正並びに
非常勤代表理事の退職慰労金の支給額について

2016年度第2回臨時評議員会

開催日 2017年3月10日(金)13:30~14:10

場 所 アークヒルズクラブ

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビルイーストウイング 37階

議決事項

第1号議案 2017年度事業計画及び収支予算について

付帯決議案 事業計画の若干の字句の修等は、会長に一任する
収支予算の金額の若干の変更及び科目間の流用は、
会長に一任する

4. 監事会

2016年5月31日 2015年度事業報告及び収支決算の監事監査

2016年6月6日 日本財団の随時監査(2012年度から2014年度分)の監査
結果に対する改善策の対応について

5. 登記事項

2016年4月26日	評議員変更登記(1名削除)
2016年7月12日	代表理事変更登記(代表理事1名削除) 理事、評議員変更登記 (理事8名削除、評議員4名追加、2名削除)

6. 主務大臣(内閣府)への届出等

2016年5月11日	評議員登記事項変更届(1名削除)
2016年6月27日	2015年度事業報告及び決算報告書届
2016年6月27日	理事・監事・評議員への報酬等支給基準の変更届
2016年7月13日	理事・監事・評議員への報酬等支給基準の変更届
2016年7月29日	評議員登記事項変更届 (理事8名削除、評議員4名追加、2名削除)
2017年3月24日	2017年度事業計画及び収支予算書届

7. 外部監査の実施

本年度も永和監査法人に監査を委託し、期中監査を2017年3月に実施し、期末監査を2017年5月に実施した。

8. 事務局

事務所を東京都港区赤坂1-2-2日本財団ビル5階に置き、業務を遂行した。
年度末現在の事務局役職員数は常勤役員2名、職員6名、計8名である。

公益財団法人日本音楽財団理事・監事・評議員名簿

(2017年3月31日現在、敬称略)

会 長	江頭(塩見)和子	常 勤
常務理事	檜 林 欣 也	常 勤
(以下理事、監事はアルファベット順)		
理 事	海 老 澤 敏	尚美学園大学大学院名誉教授
理 事	福 田 博	丸の内国際法律事務所客員顧問弁護士
理 事	福 井 俊 彦	元日本銀行総裁 (一財)キャノングローバル戦略研究所理事長
理 事	斉 藤 邦 彦	元駐アメリカ合衆国特命全権大使 学校法人北鎌倉女子学園理事長
監 事	垣 見 隆	弁護士
監 事	山 内 悦 嗣	公認会計士
評議員	相 川 直 樹	慶應義塾大学名誉教授
評議員	荒 蒔 康 一 郎	元キリンホールディングス(株)会長
評議員	海 老 沢 勝 二	元 NHK 会長
評議員	藤 井 宏 昭	国際交流基金顧問、森アーツセンター理事長
評議員	畠 山 向 子	(公財)畠山記念館館長
評議員	日 野 原 重 明	学校法人聖路加国際大学名誉理事長
評議員	木 全 ミツ	認定NPO法人JKSK女性の活力を社会の活力に 会長
評議員	清 原 武 彦	産経新聞社取締役相談役
評議員	児 玉 幸 治	(一財)機械システム振興協会会長
評議員	松 木 康 夫	新赤坂クリニック名誉院長
評議員	尾 形 武 寿	(公財)日本財団理事長
評議員	須 磨 久 善	心臓外科医

事業委員名簿

(2017年3月31日現在、敬称略)

楽器貸与委員 (欧州・米国・アジアの代表で構成)

委員長 Simon Rattle	指揮者
(以下委員はアルファベット順)	
委員 Marta Casals Istomin	元マンハッタン音楽院学長
委員 Ana Chumachenco	ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授
委員 Kyung-Wha Chung	ヴァイオリニスト、ジュリアード音楽院教授
委員 海老澤 敏	当財団理事
委員 Yvan de Launoit	ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール副理事長
委員 Curtis Price	英国王立音楽院副理事長
委員 江頭(塩見)和子	当財団会長

2016年度事業運営委員

委員長 川本 統 脩	洗足学園音楽大学講師
委員 藤掛 廣 幸	作曲家
委員 齋藤 一 郎	東京藝術大学名誉教授
委員 江頭(塩見)和子	当財団会長

財団保有楽器の概要

(2017年3月31日現在)

Stradivarius "Paganini Quartet"

アントニオ・ストラディヴァリ(1644～1737)製作による楽器で構成されたクアルテットは、世界で6セットの存在が知られている。このクアルテットはその1つであり、19世紀の伝説的なヴァイオリニスト、ニコロ・パガニーニ(1782～1840)が所有していたことでも有名である。

日本音楽財団は1994年2月にアメリカ・ワシントン D.C.のコーコラン美術館よりこのクアルテットを購入した。同美術館にこのクアルテットを寄贈した米国のアンナ・E・クラーク夫人の意志を受け継ぎ、当財団は4挺を常にセットとして四重奏団に貸与している。

1700年製 Stradivarius Violin "Dragonetti"

このヴァイオリンはネックの部分までも製作当時のものが使用されているとても貴重な楽器である。著名なコントラバス奏者ドメニコ・ドラゴネッティ(1763～1846)によって大切に所有されていたことから現在この名前と呼ばれている。日本音楽財団の購入直前には、世界的に名の知られているヴァイオリン奏者、フランク・ペーター・ツィンマーマン(1965～)によって演奏されていた。

2002年6月に当財団が購入したものである。

1702年製 Stradivarius Violin "Lord Newlands"

イギリスのニューランズ卿(1890～1929)によって生涯大切にされていたため、現在この名前と呼ばれている。1964年から1982年にこの楽器を保管していたロンドンのヒル商会が、1973年にバースの古楽器名器展にて、当時のヒル商会を代表する楽器としてこのヴァイオリンを展示していた。楽器の保存状態が優れているだけでなく、その音質の良さでも知られており、以前このヴァイオリンを演奏したアイザック・スターン(1920～2001)は、自身が所有しているガエルネリ・デル・ジェスと同じパワーを感じると語ったという。

2002年6月に当財団が購入したものである。

1708年製 Stradivarius Violin "Huggins"

このヴァイオリンはかつて、有名な楽器商ニコラス・ヴィヨームが所有していた。その後、イギリスの天文学者であるウィリアム・ハギンス卿(1824～1910)が、1880年頃ウィーンの皇帝からこの楽器を購入し、所有していたことから「ハギンス」と呼ばれている。色艶も鮮やかで保存状態に優れている。日本音楽財団は1997年よりベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝者に副賞として次のコンクールまでこの楽器を貸与し、コンクールの発展と演奏家の技術向上に寄与している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

1709年製 Stradivarius Violin "Engleman"

このヴァイオリンは、アメリカ海軍士官ヤング中佐が第二次世界大戦中に戦死するまで、約150年間ヤング家に大切に保管されていたため、保存状態が優れている。当財団が保有する以前は、アメリカのアマチュア・ヴァイオリン奏者で収集家のエフレイム・エングルマンが所有していたため、現在はこの名前で親しまれている。

1996年5月に当財団が購入したものである。

1710年製 Stradivarius Violin "Camposelice"

このヴァイオリンは、1880年代にフランスのカンポセリーチェ公爵の手に渡ったことから「カンポセリーチェ」と呼ばれている。1937年にはクレモナ古楽器名器展にキューネ博士のコレクションとして展示された。日本音楽財団が購入する前は、30年間以上ベルギーのアマチュア奏者のもとで大切に保管されていたため、楽器の内側の状態はオリジナルのままである。

2004年9月に当財団が購入したものである。

1714年製 Stradivarius Violin "Dolphin"

1800年代後半にこの楽器を所有していたジョージ・ハートは、光沢の美しい裏板のニスが優美な「イルカ」を思わせることから「ドルフィン」という名前を付けた。音色並びに楽器の保存状態が優れており、1715年製「アラード」、1716年製「メシア」に並ぶ世界3大ストラディヴァリウスの1つと呼ばれている。また、巨匠ヤッシャ・ハイフェッツ(1901～1987)が愛用していたことでも知られている。

2000年2月に当財団が購入したものである。

1715年製 Stradivarius Violin "Joachim"

この楽器は、有名なハンガリーのヴァイオリン奏者、ヨーゼフ・ヨアヒム(1831～1907)が所有していたストラディヴァリウス1715年製ヴァイオリン5挺の内のひとつである。また、ヨアヒムからヴァイオリンのレッスンを受けていた彼の兄弟の孫娘アディラ・アラニに遺贈されたことから「ヨアヒム=アラニ」という名前でも知られている。日本音楽財団が購入するまでは、アラニ家によって代々受け継がれてきた。

2000年9月に当財団が購入したものである。

1716年製 Stradivarius Violin "Booth"

1855年頃にイギリスのブース夫人が所有していたため、現在の名が付けられている。彼女はヴァイオリンの才能を発揮した2人の息子たちのためにストラディヴァリウスのクアルテットを形成しようと試み、この楽器を購入した。1931年にアメリカの名高いヴァイオリン奏者ミシャ・ミシャコフ(1896～1981)の手にわたり、1961年にはニューヨークのホッティンガー・コレクションの一部となった。音色の美しさ、音の力強さにおいて知名度が高く、保存状態も優れている。

1999年1月に当財団が購入したものである。

1717年製 Stradivarius Violin "Sasserno"

1845年からフランスのサセルノ伯爵が所有していたことからこの名前と呼ばれている。1894年にはヴァイオリン奏者のオットー・ペイニガーが所有し、その後にイギリスで有名な醸造所を所有していたピカリング・フィップスの手に渡った。1906年にはイギリスの産業資本家ヘンリー・サマーズが所有し、それ以後90年以上にわたり同家で大切に保管されていたため、製作時のままのニスが多く残っており保存状態が非常に優れている。

1999年5月に当財団が購入したものである。

1722年製 Stradivarius Violin "Jupiter"

このヴァイオリンは、1800年頃にイギリスの偉大なコレクター、ジェームス・ゴディングによって「ジュピター」と名付けられたといわれている。この楽器は大切に使用されてきたため保存状態が素晴らしく、オリジナル・ニスも全体に十分残っている。

1998年5月に当財団が購入したものである。

1725年製 Stradivarius Violin "Wilhelmj"

1866年以降、約30年間この楽器を所有していた著名なドイツのヴァイオリン奏者、オウグスト・ウィルヘルミ(1845～1908)に因んでこの名前が付けられた。ウィルヘルミの所有していた数多くのヴァイオリンのうち最も愛用されていた楽器だったが、「演奏者として華のあるうちに引退したい」との理由で、50代の若さで楽器を手放したという。

2001年6月に当財団が購入したものである。

1736年製 Stradivarius Violin "Muntz"

楽器内側に貼られたラベルにはストラディヴァリ本人の手書きで「d'anni 92(92歳)」と書かれている珍しい楽器である。透明な黄褐色のニスが楽器のほぼ全体に綺麗に残っており、楽器の保存状態も音色も格段に優れている。1874年以降、英国の収集家ムンツが所有していたため、「ムンツ」と呼ばれている。1737年に死去したストラディヴァリが、最晩年に製作した楽器のひとつとして知られている。

1997年7月に当財団が購入したものである。

1696年製 Stradivarius Cello "Lord Aylesford"

アマチュア奏者として有名であったイギリスのアイレスフォード卿が1780年代初期にイタリアの名高いヴァイオリン奏者フェリーチェ・デ・ジャルディーニ(1716～1796)から購入し、その後アイレスフォード家に約100年間所有されていたことからこの名前が付けられた。1946年にはアメリカ・フィラデルフィア在住の世界的に著名なチェロ奏者グレゴール・ピアティゴルスキー(1903～1976)の手に渡り、1950年から1965年には巨匠ヤーノシュ・シュタルケル(1924～2013)によって演奏会や35枚のレコーディング

のために使用された。

2003年6月に当財団が購入したものである。

1730年製 Stradivarius Cello "Feuermann"

アントニオ・ストラディヴァリが製作したうち、現存するチェロは、約50挺といわれている。「フォイアマン」は普通のチェロと比べ、楽器本体の部分が細長い点の特徴である。1934年から世界的に著名なチェロ奏者、エマヌエル・フォイアマン(1902～1942)が長年にわたり演奏活動に使用したことから、この名前と呼ばれている。エマヌエル・フォイアマンは斎藤秀雄が師事したこともあり、日本でもよく知られている。

1996年12月に当財団が購入したものである。

1736年製 Guarneri del Gesù Violin "Muntz"

アントニオ・ストラディヴァリと並び称される名工、バルトロメオ・ジュゼッペ・グアルネリ(グアルネリ・デル・ジェス)(1698～1744)が製作したヴァイオリン。イギリスの収集家ムンツが一時期所有していたことから、この名前で親しまれている。日本音楽財団はストラディヴァリとデル・ジェスによって同じ1736年に製作された2挺の「ムンツ」を保有しており、それぞれの楽器の音色の特色を聴き比べるために、両方の楽器を使用したコンサートを開催している。

1995年3月に当財団が購入したものである。

1740年製 Guarneri del Gesù Violin "Ysaye"

この楽器はベルギーの国家的ヴァイオリン奏者、ウジェーヌ・イザイ(1858～1931)が所有していたことからこの名前が付けられた。楽器の中には小さなラベルが貼られ、赤いインクで「このデル・ジェスは私の生涯を通じて忠実なパートナーだった。イザイ1928」とフランス語で書かれている。イザイの国葬の際には棺の前をクッションに載せられ行進した名器としても知られ、その後、1965年に巨匠アイザック・スターン(1920～2001)の所有となり生涯愛用された。この楽器は日本音楽財団が1998年に、スターンから譲り受けたものである。

1998年3月に当財団が購入したものである。

以上、当財団はストラディヴァリウス・ヴァイオリン14挺、ストラディヴァリウス・チェロ3挺、ストラディヴァリウス・ヴィオラ1挺、グアルネリ・デル・ジェス・ヴァイオリン2挺の合計20挺の弦楽器を保有している。

楽器名と貸与者一覧

2017/3/31現在

	楽器名	貸与演奏家	貸与開始	備考
(長期貸与)				
	Antonio Stradivari "Paganini Quartet"	Hagen Quartet		
1	Violin 1680	Rainer Schmidt	2013/7/25	ピンニゲン(スイス)在住
2	Violin 1727	Lukas Hagen	2013/7/22	ザルツブルク在住
3	Viola 1731	Veronika Hagen	2013/8/4	ゼーキルヒェン・アム・ヴァラーゼー(オーストリア)在住
4	Cello 1736	Clemens Hagen	2013/7/18	ザルツブルク在住
5	Antonio Stradivari 1700 Violin "Dragonetti"	Veronika Eberle	2009/5/11	ベルリン在住
6	Antonio Stradivari 1702 Violin "Lord Newlands"	Suyoen Kim	2015/1/20	ベルリン在住
7	Antonio Stradivari 1708 Violin "Huggins"	Ji Young Lim	2015/6/2	ソウル在住 2015年エリザベートコンクール優勝者
8	Antonio Stradivari 1709 Violin "Engleman"	Benjamin Beilmann	2016/12/7	フライタデルフィア在住
9	Antonio Stradivari 1710 Violin "Camposelice"	Svetlin Roussev	2012/1/15	パリ在住 2012/1/15-2/8 Joachim貸与 2012/2/8 よりCamposelice貸与
10	Antonio Stradivari 1714 Violin "Dolphin"	諏訪内晶子	2000/8/11	パリ在住
11	Antonio Stradivari 1715 Violin "Joachim"	Ray Chen	2009/6/2	フライタデルフィア在住 2009年エリザベートコンクール優勝Huggins貸与 (2009/6/2-2010/9/8) 2012/4/11よりLord Newlands貸与 2014/6/19よりJoachim貸与
12	Antonio Stradivari 1716 Violin "Booth"	Arabella Miho Steinbacher	2005/5/6	ミュンヘン在住 2005/5/6よりStrad. Muntz貸与 2006/9/4よりBooth貸与
13	Antonio Stradivari 1717 Violin "Sasserno"	Alina Pogostkina	2013/2/28	ベルリン在住
14	Antonio Stradivari 1722 Violin "Jupiter"	五嶋 龍	2013/3/7	ニューヨーク在住
15	Antonio Stradivari 1736 Violin "Muntz"	Yuki Manuela Janke	2007/11/2	ドレスデン(ドイツ)在住
16	Antonio Stradivari 1696 Cello "Lord Aylesford"	Pablo Ferrández	2014/1/17	トレド・ネス(スペイン)在住
17	Antonio Stradivari 1730 Cello "Feuermann"	石坂 団十郎	2004/1/29	ベルリン在住 2004/1/29-2014/1/10 Lord Aylesford貸与 2013/6/22よりFeuerman貸与
18	Guarneri del Gesu 1740 Violin "Ysaye"	Sergey Khachatryan	2005/5/31	エッショホルン(ドイツ)在住 2005年エリザベートコンクール優勝Huggins貸与 2009/4/7よりLord Newlands貸与 2010/10/27よりYsaye貸与
(短期貸与)				
19	Antonio Stradivari 1725 Violin "Wilhelmj"	Radoslaw Szulc		ミュンヘン在住 演奏活動のため
20	Guarneri del Gesu 1736 Violin "Muntz"	渡辺 玲子		東京在住 財団事業協力のため

長期貸与18挺、短期貸与2挺 現在保有楽器 計20挺

上記のとおり2016(平成28)年度事業報告及び附属明細書を提出いたします。

2017(平成29)年5月25日

公益財団法人 日本音楽財団

会 長 江 頭 (塩 見) 和 子



2016(平成28)年度事業報告及び附属明細書を監査した結果、適正かつ妥当であると認めます。

2017(平成29)年5月25日

監 事 垣 見 隆



監 事 山 内 悦 嗣

